

## 幕張メッセ北ホールだけ…

# 屋根に大量のサビ

今年度から15年かけて大規模改修する幕張メッセ（千葉市美浜区）について、県は16日、国際展示場北（9～11）ホールの屋根で、サビが相次いでいたことを明らかにした。これまでに補修した箇所は2000～3000カ所にのぼる。県

は改修計画の中で最大13億円をかけて屋根を改修する予定だが、現時点で発生原因は特定できていない。

県議会商工労働企業委員会で鈴木均県議（民進）の質問に答えた。北ホールは1989年に開業した1～

8ホールに続いて、97年に完成した。県経済政策課によると、屋根はステンレス製で、海に近いことから腐食に強い素材を使用した。しかし、2000年夏ごろからサビが発生。施工者が無償で補修してきた。

ほぼ同じ素材を使った1～8ホールの屋根には発

生していない。屋根に同種のステンレスを使った全国50カ所以上の施設でも、発生しているところは少ない。

県は専門機関に依頼し、素材や耐久性を調べたが、原因は特定できていない。改修計画では、現在の屋根を新たなステンレスで覆う

こととしており、19年度には設計に入る予定。担当者は「原因究明とともに素材の選定を慎重に行い、同じようなことが起きないようにしたい」と話す。